

ふるさと応援団木島平会会報

年に一度の幻の名瀑「樽滝」現る!!

5月8日、年に一度だけ現れる「樽滝」をひと目見ようと、滝見橋付近は、朝から大勢の写真愛好家や観光客らが訪れ、雄大な樽滝の姿を写真に収めていました。この樽滝は、水力発電の余水を流すことで現れ、この日しか見ることができないことから、今では年に一度の村の観光名所となっております。

皆さんも是非、来年この雄大な姿を見てみませんか。



自然劇場きしま平と私

岩下禮二郎

今から四十年前、長女出産で里帰りをしていた妻と子に会うため、数回木島平を訪れました。四月から六月の事です。梅、桃、桜、林檎、梨、そして菜の花が一斉に咲いて、春がいつぱんに訪れるという印象です。少し大げさに言えば「天国」とか「極楽」というのはこういう所なのかもしれないと思つたことでした。その後、馬曲温泉ができて、あの山の中腹から見下ろす木島平の村々の景色はまるで日本のスイスと言つた感じの田園風景でした。息子が小学校六年生のとき、一年間北部小学校にお世話になりました。何度か村の子供たちや先生に接し、信濃教育の素晴らしさを実感することが出来ました。おかげで息子も立派に成長し、幸せな家庭を築いています。木島平は自然だけでなく、人間教育も素晴らしいと実感しました。そんな故郷を持つ妻は幸せ者です。

私の故郷「木島平」

岩下富恵

昨年五月、念願の木島平へのツアーを実現することが出来ました。村の協力で、送迎バスを用意していただき、三十三名もの参加者を集めることが出来ました。日頃、木島平の素晴らしさや、田舎料理を紹介していた私ですが、木島平そのものを味わっていただき、本当にうれしかったです。

昨年は、雪が少なかったので「カヤの平」で、ブナの芽吹きの中を散策しながら、水芭蕉に感動しました。また、その場でたくさんの山菜料理を頂いてみなさんに思う存分楽しんでいただきました。このツアーがあまりにも好評だったので、再び実現できることを祈っています。



うちの区の思い出

内山区

島崎

巖(内山出身)

☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

内山区

地区のテーマ 魅力あふれる 和紙と清水の里 内山 (将来像)

内山区は、内山障子紙発祥の地として知られ、400年ほど前から始まったといわれる和紙生産は、最盛期には40戸以上で生産されていましたが、昭和43年を最後に生産者は絶えてしまいました。現在は手すき和紙体験の家で伝統を守っています。

また、昭和34年頃からえのき茸の栽培が始まり、最盛期にはやはり40戸ほどで栽培されていましたが、現在は4事業所となっております。専業農家は少数で兼業農家が主であり、区には70戸276人が暮らしています。

区の行事は1月の道祖神、4月のさくら観世音祭り、7月の柱松子(村無形民俗文化財)、9月の秋祭り、10月には龍興寺清水祭り、このほかマレットゴルフ大会を年2回行っています。区の宝物である龍興寺清水は、ロコミなどで知れ渡り、長野市辺りからも汲みに訪れる姿が見えます。区民の中でも女性にパワーがあり、ほっ辛味噌を村の特産品にしたり、清水を使った龍興寺そばを売り出し中です。美化活動は、花壇整備やヤマブキ植樹、分館裏の庭造りなどを行っています。柱松子の行われる大日如来堂への道路も整備を予定しています。

村内外から多くの方が清水を汲みに訪れる内山区では、景観整備に力を入れる考えです。



▲炎の奇祭として知られる内山区の「柱松子」

清水・・・
冷蔵庫のない頃、夏の昼飯時「清水に水汲みに行つてこい」なんて言われてやかに汲んできたものである。
また、子どもの遊びで拳を1、2、3で水に入れて一番長く入れていた人が勝ちと我慢比べをしたこと等を思い出す。

野球少年記



▲龍興寺清水(長野県名水100選に指定)

木島平型地域スポーツクラブ

enjoyふうたくらぶ キッズ基礎体力運動教室

5月10日、村体育館でenjoyふうたくらぶ主催によるキッズ基礎体力運動教室が開催されました。当日は約20組の親子が参加し、動物の動きの真似をしたり、丸めた新聞紙を使って楽しく体を動かしました。

幼児期の運動体験が将来の子どもの運動能力や成長を促します。子どもたちのためにも、様々な経験をさせてあげるのも大人の義務ではないでしょうか。



▲クマやカエルの動きの真似をして楽しく運動する子どもたち。